



7/6 抜け殻探しに“GO”! 小学生がヒメハルゼミ調査

市教育委員会は、今年も鶴枝小学校3年生の児童らと共に、国の天然記念物に指定されている八幡山（市内上永吉）にて、ヒメハルゼミの抜け殻調査を行いました。

児童たちは、3回（7/1、7/6、7/12）の調査の中で、木の枝や葉の裏側から計120個体の抜け殻を発見（過去最高147個体）。調査後は、小学校で抜け殻の雄雌を判別しました。今後は調査の成果として壁新聞が作成される予定です。



▲約1.5センチの抜け殻を大切に虫かごに入れます



▲①通報する児童 ②さすまで押さえる署員 ③「ミルクウェイ」によるコント

「イカのおすし」を守ろう！ 7/15 東部小学校で防犯教室を開催

市では、登下校時の声かけや連れ去りを想定した防犯教室を東部小学校で実施しました。児童は近くの民家に逃げ込み110番通報し、不審者の特徴を正確に報告。不審者は駆け付けた署員に取り押さえられました。

また、茂原警察署安全安心推進広報担当官「ミルクウェイ」による防犯コントも披露され、児童は楽しみながら学んでいました。

※「イカのおすし」とは「イカ」行かない、「ノ」乗らない、「オ」大きな声を出す、「ス」すぐ逃げる、「シ」知らせるの頭文字をとった防犯標語です。

7/29 罪や非行のない住みよいまちに 社会を明るくする運動啓発パレード

七夕まつりで賑わう市内商店街で、社会を明るくする運動啓発パレードが行われました。この運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、茂原市保護司会、更生保護女性会が中心となり、毎年行われています。

この日は、関連団体から約100人が参加。道行く人に声をかけ、啓発用のうちわとポケットティッシュを手渡ししながら、犯罪防止を呼びかけました。



▲横断幕を先頭にアピールする参加者



▲活動は、今年で21回目を迎えました

一人ひとりの安全を願う 7/29 交通安全母の会街頭啓発

茂原七夕まつり期間中の茂原駅周辺で、茂原市交通安全母の会が、夏の交通安全運動の街頭啓発を行いました。

会員たちは、「交通安全は家庭から」のメッセージが入った竹うちわと、交通安全のチラシを手渡し、交通安全を呼びかけました。